

スギ花粉症

我国にスギ花粉症が初めて登場したのは、1964年(昭和40年)のことでした。それから40年がたちた今日、10人に1人がこれに悩まされるという国民病のようになっていきます。スギ花粉のつき方は前年夏の気温と日照時間に左右されると言われますから、今年は相当地い人が多いと予想されます。

病人はいらら感感を少しでも軽減しようとしてマスクをつけたり眼鏡をかけたりますが、この疾患は環境の他に遺伝要素も関わっているため、これだけで予防することは困難で効果も不十分です。ひどくなると顔面皮膚までがザラザラして痒くなりますが、残念ながら根本的な治療法はまだありません。その時々症状を抑える対症療法が主で、後は原因花粉の飛散がなくなるのを待つというのが現状です。初期にはくしゃみや鼻水、眼のそう痒感が主ですが、時が進むとこれに鼻閉が加わってきます。

治療はまず、局所点鼻点眼薬や内服薬を使用します。スギ花粉は他のカモガヤ、ブタクサに比べるとたちが悪く、一般の抗ヒスタミン剤あるいは抗アレルギー剤では効果があがりません。これに少量のステロイドホルモンを加

大量花粉前線・接近中！ 急いで予防!! 早めの治療!!!

今春は、全国的に観測史上1,2位を争う多さの花粉量が予想されています。花粉症の方は重症化が、花粉症でない方も発症する可能性が指摘されています。

鼻のムズムズ・・・ 目の痒み・・・
花粉症かな?! と思ったら、早めに医療機関を受診しましょう。

発症や重症化の予防効果が期待されるのは・・・

「マスク」や「眼鏡」の着用 「うがい」の励行



玄関口での「服たたき」

「洗顔」「手洗い」の励行

千葉県の花粉尘情を調べるには・・・

千葉県アレルギー相談センターのホームページで
<http://www.pref.chiba.jp/sc/2677>

関東地方の花粉尘散情報は・・・

環境省花粉観測システム(はなこさん)のホームページで <http://kafun.nies.go.jp/>

花粉症などのアレルギー疾患に関するご相談は・・・

千葉県アレルギー相談センターへ ☎ 043 223 2677
月・水・金曜日(祝日を除く)の9時～17時(12時～13時を除く)
または、各健康福祉センター(保健所)へ

千葉県医師会「健康ひろば千葉」

<http://www.chiba.med.or.jp/kenko/>
携帯サイト <http://www.chiba.med.or.jp/kenko/i/>



えたものが必要となります。ステロイドホルモンの副作用については多くの方が恐怖心を抱いています。点鼻薬に含まれる程度の量なら問題ありませんし、内服薬も花粉飛散期間に限るならば心配ないと考えられています。ただし低学年児童、免疫不全症、結核、糖尿病、骨粗しょう症、消化管潰瘍、緑内障を合併している場合には話は変わり嚴重に注意しなければなりません。鼻閉もひどくなると

くると点鼻薬も効かなくなってきました。このような時、耳鼻科医はガーゼに血管収縮薬を浸して、これをピンセットで鼻腔に挿入することで対処しています。スギ花粉症の根本的治療については多くの研究者が努力を重ねていますが、実用までにはしばらく時間がかかるでしょう。

健康教育委員会

寺尾 彬(寺尾耳鼻咽喉科院長)